



「飛蚊症(ひぶんしょう)」は「ひもんしょう」とは読みません⑦

(最終回)

では、前月号に引き続き飛蚊症解説の続編ですね。今回が最終回となります。簡単に説明すると、硝子体手術というのは、眼球の中に器具を差し込んで内容物をいじる手術であり、つまり不要な濁りを取り除くことも理論的には可能な訳です。つまり、硝子体手術で飛蚊症をなおせる可能性はある…しかし、本来重症な病気に対して行われるべき手術なので「基本的にはやっちゃダメ」というのが現在の一般的な理解という事になります。では、何でダメなのでしょう？まずは先月号の最後の引用の続きからです…

@@

この手術の成績は年々向上し、いまや多くの病院でほぼ80%の平均成功率をあげています。

ここでも成功率に大きな影響を及ぼすのは、やはり早期治療です。病状が比較的軽い、こじれていない段階で手術をすると、成功率が高く90%は視力が改善します。しかしひどくなってから手術した場合は、成功率は60%にまで下がってしまいます。早期治療すれば、文字を読んだり書いたりできる0.5以上の視力を保つ確率が高くなります。しかし重症になってからの手術では、手術が成功した場合でも、0.1以下の何とか自分のことは自分でできる程度の視力にとどまることが多いのです。このような手術を受ける事にならないように、早めのレーザー治療の重要さが痛感されます。

治療の時期を逸さないように、たとえ自覚症状がなくとも定期的な精密眼底検査を受けることが大切です。@@
 @@@
 @@@
 早めの手術が必要というのは、あくまでも糖尿病で目が悪くなった人に関してと考えるとください。どんな病気でも「早めに硝子体手術をやれば良い」という訳ではないんですね。では、なんで飛蚊症治療で硝子体手術をしてはいけないか？という事ですが、その答えはズバリ「合併症で失明するリスクがあるので」という事になります。上に書いてある通り最近の一般的な硝子体手術の術後成績は以前に比べて向上して来ています。しかし、これは「重症疾患の方の失明予防」という目的においての手術成績という意味であって…振り返って「正常な目」に対しての合併症は基本絶対に許されませんので…少ないとはいえある一定の確率で合併症を生じても許容されるのか？という事が議論の対象になる訳なのです。(重症疾患の場合には目的が「失明予防」ですので、たとえ術後に合併症が起きたとしても「止むを得ない」側面があります。手術をせずに放置すれば失明してしまうのですから、最初から「手術をしない」という選択肢はあり得ない訳です。) 前月号の図で判る通り、硝子体手術では眼球に三か所穴をあける必要があります。手術器具の進歩により、かなり細い針での孔ではあるのですがその穴の部分から網膜剥離や出血を生じる可能性というのは「ゼロではない」訳です。また合併症の問題を抜きにしても、全ての飛蚊症が硝子体手術で治療できる訳ではなく、あくまでも「後部硝子体剥離」のみが治療対象となるようです。正常範囲内の飛蚊症としては濁りが最も大きく症状も強いいためこれを取り除くことはできる訳ですが、それ以外のサイズ

の小さな正常範囲内の飛蚊症は治療できないと思います。また、この原稿を書くにあたり色々ネット検索をしたのですが、アメリカでは「飛蚊症をレーザーで治療」しているドクターもあるそうです。やはりこれも「後部硝子体剥離」のみが治療対象であり、その大きな濁りをレーザーで吹き飛ばして視線にかからない位置に移動させるようです。理論的には可能ですし、これなら合併症も少なさそうですが、レーザーで硝子体が引っ張られるので、網膜剥離を起こすリスクはありそうですね。また、ネット上の情報ではレーザーの回数が多くなることもあったり、それでも治療効果が出る確率が6割とか…うーん、中々評価が難しい処のようですね。キーワードは「Treating EYE FLOATERS」(日本語訳：飛蚊症の治療)です、you tube なんかには実際の動画もアップされてますよ、海外のページになりますけど。飛蚊症についての解説は以上で



サクラヤさんの看板です

終了です、長くお付き合いを有難うございました。眼科医をやっていると、この「飛蚊症」は患者さんの訴えの中でもベスト5に入るくらい多い訴えでして…この解説が少しでも皆さんのお役に立てたら嬉しいなと思います。さて、紙面が余りました(笑)。たまには地元に戻る私の個人的な話など…以前に右田病院があった場所のすぐ近くに「サクラヤコーヒー」というジャズ喫茶があります。地元の方々なら知らぬ人の無い有名なお店ですが、なんと昨年の夏からそのお店でジャズの生演奏が聞けるようになりました。プロのジャズミュージシャンの演奏も聞けますし、「ジャムセッション」といってプロとアマチュアのミュージシャンが入り混じって即興演奏をする会も催されています。不肖この私…学生時代にちよつとだけジャズギターをかじっていた時期がありまして、医者になってからは何かと忙



古いギターはこれまた地元！八幡町の「アームズファクトリー」で購入した「combat社のギター」

しくてあまりギターを熱心に弾いてもいなかったのですが「こんなに近所でそんな会があるなら…顔くらい出してみようかしら？」という気分になりました…。まあ、久しぶりなモノですから…取り敢えず音は出すものの…皆さんにご迷惑ばかりの演奏で(笑)、でもプロ含め地元の皆さん優しい方ばかりでして…何とか仲間に入れて頂いて楽しくやらせて頂いております。ちなみに、そうした私が参加している素人交じりの演奏以外にプロの演奏会もあり、こちらでも楽しく拝見させて頂いております。アットホームで楽し気な雰囲気、勿論コーヒーも抜群に美味しいです。ご興味のある方は是非お店の方へ！



譜面をみながら拙いギターを弾く藤田(笑)

今月のお知らせ

都合により、**今年1月からは代診医師の診療は全て中止**となり、藤田眼科での診療は**全て院長が担当**することになります。急な変更で申し訳ありませんが、ご理解の程お願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
 エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
P-Vision

① **042**
(645)
0575
 ① **042**
(642)
2911